桃園小学校・向台小学校統合委員会　要　点　記　録

第１３回

開　催　日　時		平成30年10月24日(水)　午後6時40分～7時25分
開　催　場　所		弥生区民活動センター　洋室３、４号
出席者	委　員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、吉田昌平、瀧本和江、木下克美、清水好博、阿部正幸、奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、井上江見子、冨永暢久、高橋昭彦、石原千鶴 （敬称略、名簿順）
	事務局	学校・地域連携担当
会　議　次　第		【議事】 １　中野第一小学校の校章について ２　統合新校の校旗の検討について ３　その他

第１３回　桃園小学校・向台小学校統合委員会　　会　議　要　旨

委員長
　定刻となったため、これより第１３回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

１　議　事

議事（１）中野第一小学校の校章について

委員長
　議事「中野第一小学校の校章について」事務局の説明を求める。
事務局
　統合新校の校章については、前回の協議で一つに絞り込んだ候補を基本デザインとして、専門家の東京工芸大学に磨きをかけてもらうことになった。その際の要望として、「第一」の字体を他の字体に置き換えたものと、角を６本伸ばしたデザインの２点の制作を依頼した。９月14日付で事務局から委員の皆様に結果を通知したが、それが配布資料のＡ1、Ａ2、Ａ３の３種類のデザインである。通学帽子の制作を急ぐ事情があり、正副委員長、学校長と話し合い、Ｂのデザインが統合委員会の意見も反映されていることから、これを内定としたい旨を併せてお知らせした。その後委員の皆様からご意見が特に無かったため、このデザインを採用して通学帽子に校章デザインの刺繍を入れる作業を始めることを９月28日付で通知した。
　本日はこの校章デザインについて、Ｂのデザインで良いか改めてご意見を戴きたい。了承をいただければ今後は刺繍校旗の制作にも急いで入る予定である。また、校章の説明・由来案を、応募者の説明に沿って事務局で作成したので、意見をいただきたい。
委員長
　刺繍校旗の制作期間を考えると、本日校章図案について統合委員会の意見を取りまとめ、最終決定したい。まず、資料のＢのデザインを中野第一小学校の校章とすることについて、よろしいか。

―異議なし―

委員長
　では、Ｂのデザインを校章とする。
　続いて、校章の説明・由来について、意見のある者はいるか。
委員
　学校が了承していれば良いと思う。
委員
　応募者の意向が生きているので非常に良いと思う。
委員長
　満場一致で可決された。皆が納得できる非常に良い説明だと思う。

議事（２）統合新校の校旗の検討について

委員長
　議事「統合新校の校旗の検討について」、事務局の説明を求める。
事務局
　これから刺繍校旗の制作を始め、１、２月頃に開催する統合委員会でお披露目したい。資料「校旗の制作について」には、これまでの統合新校の刺繍校旗の一覧を掲載している。一般的には、校旗は横長の長方形で濃い色の生地を使用し、校章や校名の刺繍部分には金糸･銀糸を使用する。本日は刺繍校旗についての意見を取りまとめていただきたい。ただし、金糸・銀糸の使い方等、この場で決めることが難しい細部については、両校と事務局が業者と相談しながら決めさせてもらいたい。統合委員会では生地の色や形等、大まかな部分を決めてほしい。参考に、前方に両校の現在の刺繍校旗を置いている。また、業者から預かった生地の色見本をこれから回覧する。
委員長
　事務局の説明のとおり、細部については両校と事務局と業者で協議して決定してよろしいか。

―異議なし―

委員長
　では、校旗の色を協議したい。色見本には青系の色が多いようである。
委員
　奇抜な赤も良いと思う。入学式や卒業式等の式典で壇上に飾るので、映える色が良い。舞台によるが、背景と同じ色だと馴染んでしまうだろう。
委員
　長年使用しても色褪せない色が良い。明るい色は新しいうちは良いが、時間が経つと汚れが目立つと思う。
委員
　校章を金にするならば、青系の布地が映えると思う。周りのフリンジ部分も金糸なので、一層引き立ちそうである。
委員
　紫紺のような濃い色が良いと思う。
委員長
　では、それらの意見を参考にして、学校に任せるということで宜しいか。

―異議なし―

委員長
　本日取りまとめた意見は、後日教育委員会に報告するので、事務局はその準備を進めてほしい。

議事（３）その他

委員長
　本日の議事は以上で終了したが、「就学手続等説明会の実施報告について」、事務局の報告を求める。
事務局
　先日両校で開催した就学手続説明会の報告をする。10 月３日に、各学校の１～５年生の児童の保護者を対象に、統合新校への就学手続及び学校指定品の支給に関する説明会を開催した。これを実施したのは、12 月に発送する就学通知書の学校名を確定する必要があることと、来年４月に統合新校の中野第一小学校へ就学するのか、あるいは別の学校へ転校を希望するのかということを把握したいという事情があるからである。
　また学校指定品について、支給予定品目である体育着、水泳帽子、通学帽子の仕様がほぼ決まってきたことと、区内の他校へ指定校変更する方の場合は、区にその変更が認められれば、学校指定品が支給されるということを説明した。全員に就学校と学校指定品希望の調査票を提出してもらい、結果を今月末以降に集約して、12 月に就学通知書を教育委員会から発送する。学校指定品は、来月頃にサイズ調査をして、３月中旬から下旬頃に現品を支給する予定である。
委員長
　説明会ではどのような意見・質問が出たのか。
事務局
　他校に転校した場合でも本当に学校指定品を支給してもらえるのかという質問を戴いた。自己都合での転校だと支給は難しいが、統合にあたって近い方の学校に行きたいという理由であれば、統合の影響を受けているので転校を認めるという区の考え方を説明した。
委員長
　その他に意見・質問等はあるか。ないようであれば、「中野第一小学校の学校指定品について」に入る。学校指定品は、学校の授業で必要となるもので、両校で協議して決定することになった。それでは学校の報告を求める。
委員
　今事務局が掲示しているが、通学帽子の見本が出来あがった。双方の PTA と教員で話し合い、区内の他校にはないベージュ色で、茄子紺のラインの入った品の良い帽子である。片側に小さなリボンが付いており、その上に学年による色別の校章を縫い付ける予定である。プリントやバッジで校章を取り付けるという話も出たが、子どもにとって安全で、かつ見栄えの良い刺繍を入れることにした。見本を今回している。
　また、体育着も区内で他に使っている学校のない綺麗なデザインのものを選んだ。見本が会場後方に展示されている。
委員
　ラインが入っていてお洒落な体育着だ。
委員
　可愛いデザインである。
委員
　見本品よりも厚く丈夫で透けない生地を使う予定である。左胸に校章がプリントされる。また水泳帽子については、現在桃園小学校と向台小学校は色が違うが全く同じ形のものを使っているので、学年ごとに違う色の帽子にして、水泳指導のときに何年生が今何をしているのかということが分かりやすいようにした。さらに水泳帽子には進級の級を入れる。これら通学帽子、体育着、水泳帽子の３点を学校指定品とすることになった。
委員
　学年の色は決定したのか。
委員

まだ決定はしていないが、向台小学校で現在使っている学年カラーをそのまま使えば、混乱が生じないだろうと思っている。
委員長
皆様に通学帽子の見本を回して見てもらった。清潔で良い印象の帽子である。質問はあるか。
委員
アイボリー色の生地に黄色の刺繍をすると遠くから見づらく、学年が判別しづらいと思う。刺繍を少し違う黄色に変えれば見やすくなるのではないか。また、とても良いデザインのものを選んでもらって大変ありがたいが、子どもは成長するので買い替えが必要になると思う。値段が気になる。
事務局
過去の統合新校と比べて特に高い値段ではない。値段は業者が決めることで、具体的な数字は現時点では申し上げられないので、後で情報提供する。
委員
学校指定品は他で使えるものではないので高くなりがちだと思うが、親の負担を考えるように区から業者に一言伝えてほしい。
事務局
そうしたご意見を戴いたことはお伝えする。
委員
帽子はフリーサイズなのか。
事務局
３サイズある。
委員
学年の色は持ち上がりで行くのか。
委員
そのようにして、在学中の６年間同じ色を使うようにする。
委員長
次に、「中野第一小学校の教育目標等について」、学校の報告を求める。
委員
両校とも教育目標はほとんど同じで、知・徳・体の３つが並んでおり、少し桃園小学校の方が増えているものがある程度である。両校で話し合い、なるべく単純で分かりやすい方が良いだろうということで、１番が考える子、２番が思いやりのある子、３番が向台小学校で使っている元気な子とすることを考えている。
委員長
意見等あるか。

―異議なし―

委員長
では、それで学校で進めていただきたい。続いて、円滑な再編のための交流事業の実施状況について」、学校から報告がある。
委員
9、10 月に全校が学年ごとに交流事業を実施した。交流事業の会場は主に向台小学校だが、これは来年向台小学校の位置で統合新校が開校するため、向台小学校の校庭や体育館を使って遊んで、桃園小学校の児童に校舎内見学をしてもらうためである。１年生が９月 14 日、仲良しゲーム大会をし、２年生が9月 28 日、「おみせやさん」に来てもらって遊んでその後ゲーム大会をした。３年生が 10 月４日、地域安全マップの発表をし、向台小学校の周辺がどんな所なのかを学びながら遊んで交流した。４年生が9月 25 日、サイエンスドラゴンを行い、その後一緒に遊んで交流した。その他にも伝統工芸体験会を今後企画している。５年生は来年度に最高学年になる

ので、お互いの学校の委員会やクラブ紹介をして、どんなものがあるのか、来年どんなものを増やそうかという話し合い活動をした。６年生は、来年新しい学校には来ないが、中学校に行ってまた仲良くする仲間であろうということで、10月12日、スポーツ大会で大縄を通して交流を深めた。

委員長

　もともと地域のつながりがあるので、子どもたち同士も馴染みやすそうである。

委員

　幼稚園・保育園が一緒だった児童と再会したり、同じ地域の野球チームに所属していたりというケースがあり、児童たちは「誰々がいる」と互いに手を振りあっていた。両校の児童はほんわかした柔らかい雰囲気が似通っていて、とても良い様子だった。児童たちは今、統合に対する期待に溢れている。

委員長

　質問はあるか。ないようであれば、「中野第一小学校の通学路の検討状況について」、学校の説明を求める。

委員

　来年度以降の通学路については、向台小学校は校舎の位置が変わらないので変更は無い。桃園小学校も、向台小学校に通うために特に大きな変更は無いが、工事車両が東京工芸大学通りを午後通るので、朝は支障はないが、１本安全な道を通学路に指定してもらおうと思っている。青梅街道まで抜ける１本の道を通学路にしておけば、そこを抜けて右に曲がれば児童館に行ける。通学路として認められるように、また、暗い角には防犯カメラを取り付けてもらえるように警察と話し合いをしている。その他にも、ここを通学路にしてはどうかという意見があれば、教えてほしい。

委員

　安全を考えれば、その案が良いと思う。

委員

　防犯カメラは学校と警察と行政の話し合いで取り付けてもらえるのか。町会が防犯カメラを設置する時は費用の12分の11を都と区市町村に負担してもらえる制度があるので、それを利用すると良いかもしれない。

委員長

　それは行政がやると思う。学校の周りに今監視カメラが付いているが、通学路もその延長ということで当然取り付ける必要があるので、お願いしたい。他に何か意見はあるか。ないようであれば、本日出された意見を踏まえて、引き続き事務局を含めて検討を重ねてほしい。

　それでは、校歌の制作について事務局の説明を求める。

事務局

　校歌の制作については、作詞家の松井五郎氏と作曲家の沢田完氏に12月末までに完成するように依頼している。現在、作詞家の松井氏が初稿を沢田氏に渡した段階であり、11 月に入ったら曲を付け、下旬までには視聴できるように仕上げると聞いている。校歌の視聴は事務局から委員の皆様にご連絡をし、都合のつく方に集まってもらう。そこで何か強い意見が出れば先方に伝え、12月末には完成品を上げてもらう予定である。

委員長

　音源を聴くための会議を11月に開くということか。

事務局

　本日に間に合えば一番良かったが、スケジュールの折り合いがつかず、改めてお集まりいただくようお願いしたい。

委員長

　それだけのために集まるのは少し大変だが、皆様で聴いた方が良いと思う。では、試作が出来上がったら皆様に通知を出してほしい。

他に何か意見等あるか。ないようであれば、次回日程を事務局から説明する。

事務局

次回の第 14 回を最終回とする予定である。1 月 28 日（月）18 時 30 分から地域活動センターで開催したい。

委員長

時期が近づいたら開催通知を送付する。本日の統合委員会はこれをもって終了する。